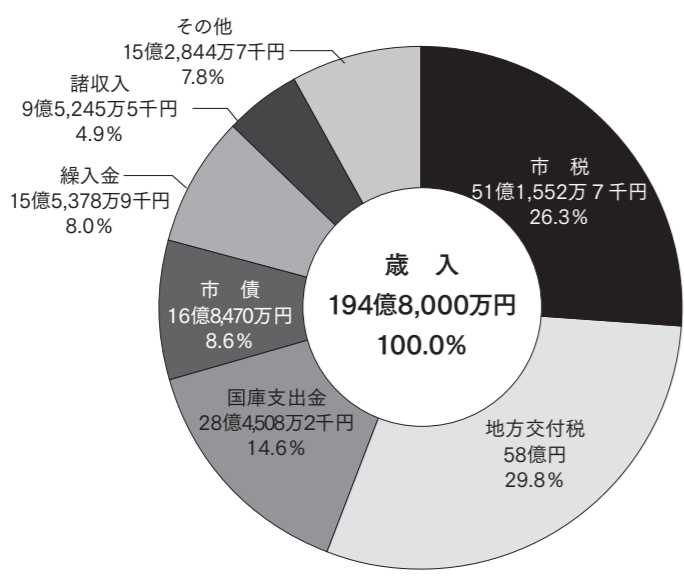


# 【特集】 平成23年度 予算



一般会計  
予算額 **194億8,000万円**

前年度当初比 2億9,000万円(1.5%)増

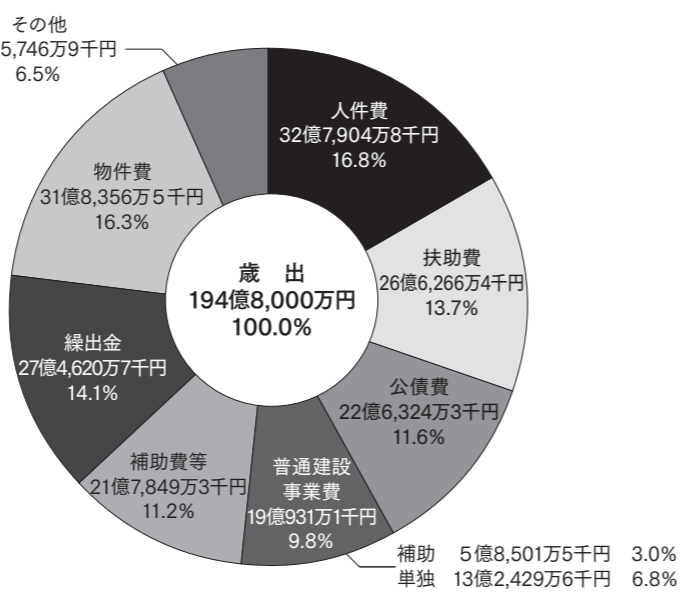


### 歳入の主な特徴

- ◇市税収入は、低迷する経済・雇用情勢を反映し、前年度比で約2億3,700万円の減収を見込んでいます。
- ◇地方財政計画の見込みから、地方交付税については前年度比3億円の増額、臨時財政対策債については、前年度比1億円の減額を見込んでいます。
- ◇平成23年度末の一般会計市債残高は123億円で、実質的な地方交付税である臨時財政対策債を含めると、前年度比で約2億7,000万円（臨時財政対策債を含めない場合は約8億円）の減額を見込んでいます。

### 歳出の主な特徴

- ◇扶助費は、自立支援事業、子ども手当事業、生活保護費などの増により前年度比1億5,000万円の増額となりました。
- ◇公債費は、計画的に償還を行い市債残高の減少に努めたため、前年度比4,000万円の減額となりました。
- ◇普通建設事業費は、生活に密着した社会資本整備を進めるため、前年度とほぼ同額を確保しました。
- ◇国民健康保険事業の財政安定化を図るための繰出金の増などにより、繰出金が前年度比1億6,000万円の増額となりました。



会計名	予算額	前年比
一般会計	194億8,000万円	1.5%
特別会計		
国民健康保険事業	50億7,616万円	2.6%
老人保健医療事業	0万円	皆減
後期高齢者医療事業	3億6,840万円	1.0%
介護保険事業	32億4,161万円	3.0%
社会就労センター事業	8,246万円	△1.6%
住宅改修資金貸付事業	0万円	皆減
倭財産区事業	228万円	125.6%
永田財産区事業	40万円	△4.8%
中野財産区事業	244万円	△18.6%
情報通信施設事業	5,677万円	3.7%
下水道事業	18億3,121万円	△17.0%
農業集落排水事業	7億2,602万円	9.4%
小計	113億8,775万円	△0.8%
企業会計		
水道事業	14億1,566万円	7.2%
合計	322億8,341万円	0.9%

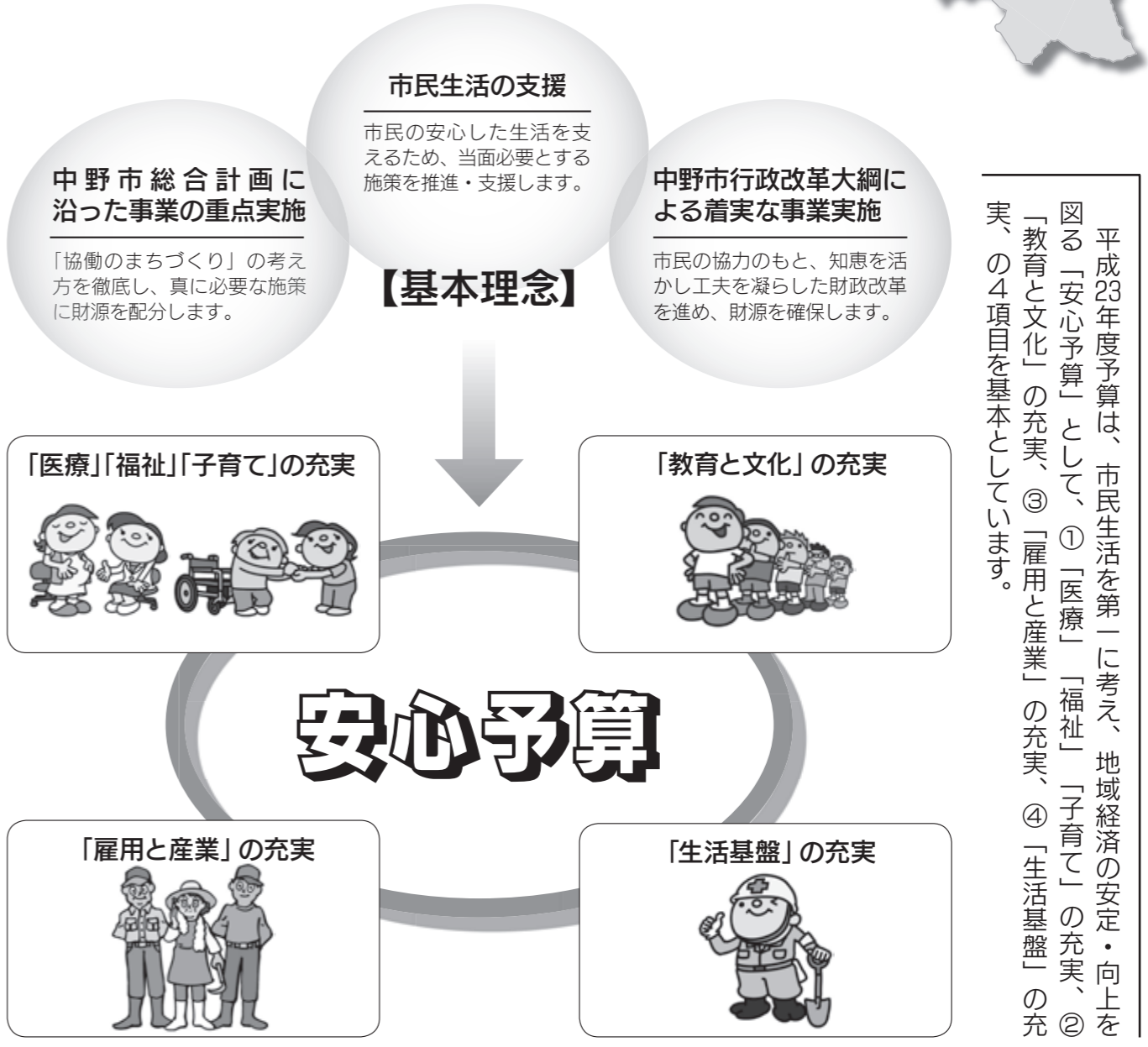
### 会計別予算額

一般会計は、市が行う事業の大部分を占め、市民の皆さんから納付していただく市税や、国、県からの交付金などが主な財源となります。

これに対して特別会計は、特定の事業を行うための予算で、主に保険料や使用料などの収入で賄われています。

また、企業会計は、事業で得る収入によって支出を賄う独立採算型の会計で、水道事業がこれにあたります。

なお、水道事業の予算総額は、収益的支出および資本的支出の予算額の合計です。



平成23年度予算は、市民生活を第一に考え、地域経済の安定・向上を図る「安心予算」として、①「医療」「福祉」「子育て」の充実、②「教育と文化」の充実、③「雇用と産業」の充実、④「生活基盤」の充実、の4項目を基本としています。

平成23年度予算は、「市民生活と地域経済の安定・向上を図る」を基本に見据えながら、元氣な中野市の実現に向けて、市民の皆さんの期待に応えるため、市民生活を優先した安全で安心なまちづくりを目指しています。

ソフト事業については地域に密着した「医療」「福祉」「子育て」の3分野に重点を置き、ハード事業については必要・不可欠な生活基盤事業を重視しました。

事業を推進するにあたり、将来の財政負担などを十分考慮、検討し、時代の流れに即応した市民目線に立ち、市民の皆さんが必要としている施策を的確に捉え、行政が責任を持つべき事業の精査を行い、真に必要な事業への予算配分としました。

また、持続可能な財政構造の構築をさらに進めるため、過去の事業に捉われることなく限りある財産・財源および資産・資源を有効に活用し、行政のスリム化を推進するとともに、事務事業評価などに基づき、各種事業の見直しや削減を図り、市税を始めとする収入の確保に全力を挙げ、今後のさらなる厳しい財政状況を乗り切るため、規律ある財政運営に努めていきます。